

ベトナム コーナー
地域おこし協力隊
ファム・ティ・モさん



もせうし
Photoニュース

妹背牛町に住んでいる外国人技能実習生が日本の交通ルールや防犯、防災について学ぶ説明会が3月19日、町民会館で開かれました。
通訳者（同時通訳）として参加した私は、外国人の皆さんがうまく生活できるように日本のルールを身につけることが大事だと思いました。ベトナムのルールと違うことをできるだけ分かりやすく説明しました。皆さんが理解してくれたようで、とてもうれしかったです。
このような機会をつくってくれた、深川警察署や妹背牛町役場などの皆さんにとても感謝しています。今回、通訳の経験を積むことができたので、将来、日本に住んでいるベトナム人の役に立てるように頑張りたいと思います。



深川警察署管内の市町に先立って開かれた交通・防犯教室で通訳を担当するモさん(左)

～ 雪解けの春 交通事故に気をつけましょう！ ～



令和5年度の交通安全祈願祭が4月5日、妹背牛神社で開かれ、参加者が今年1年間の交通安全を願いました。
町交通安全推進委員会の会長を務める田中一典町長や深川警察署の木元匡署長ら17人が参列。交通安全の黄色いたすきを身につけ、神前に玉ぐしをささげました。
祭事後、木元署長は「登下校に慣れていない児童の安全を守り、新天地のドライバーが見慣れない土地を運転するこの時期特有の事故を防ぎましょう」と、話しました。

登校時間に合わせた街頭啓発では、交通安全旗を持った参加者たちが子どもたちに正しい交通ルールを教えました。

新入学シーズンに合わせた交通安全運動が4月6日～14日の9日間の日程で展開され、関係団体のメンバーが町内中心部の沿道に立って、安全運転を呼びかけました。



魅力ある組織 会員数の確保に



総会の冒頭であいさつする中易会長

妹背牛町老人クラブ連合会は4月6日、温泉「ペペル」で令和5年度の総会を開き、スマートフォンを使い方を学ぶ教室や会員同士の親ぶくを深めるパークゴルフ大会の開催を盛った新年度事業計画を採択しました。総会には、会員ら50人が出席。冒頭、中易猛会長は「魅力ある老人クラブで会員数を確保し、皆さんでたくさん笑ったり、楽しんでいただける行事運営を図っていきましょう」とあいさつしました。

役員の補充では、新副会長に池田志津子氏を選任しました。

屋外でサウナとBBQを満喫



テントサウナで心地よい汗を流した男性

妹背牛温泉「ペペル」などは3月21日、コテージ前で「サウナ&BBQ」イベントを開き、町内外の観光客がひと足早くアウトドア気分を満喫しました。札幌市と北見市の民間2社との共催。会場にはサウナが楽しめるテントや車が並び、家族や友人同士で事前予約を済ませた人たちが集まりました。

まきの香りが広がるサウナで汗を流した男性は屋外のいすに座り、心地よい風を浴びながらリラックスした様子。七輪の席に移動し、特産品のジンギスカンをたん能しました。

そばイベントの収益金を寄付



滝本副町長に寄付金を手渡す原会長(左)

妹背牛町内のそば打ち愛好者らでつくる「手打ちそば倶楽部もせうし」(原廣司会長)は3月16日、地域振興に役立ててほしいと、イベントで得た収益金の一部を町に寄付しました。

同倶楽部は年4回、打ちたてのそばをたん能してもらうイベントを開催。1度に200食ほどを販売し、地域住民に喜ばれています。

この日は、原会長と片山事務局長が町役場を訪問。寄付金を受け取った滝本昇司副町長は地域活性化の活動に対し、感謝の言葉を述べました。

“すべ〜る”カーリング体験



氷の上を滑りながら、ブラシを使ったスワイプの練習をする子どもたち

「北空知親子カーリング教室」が3月21日、妹背牛町カーリングホールで開かれ、管内の親子約40人がカーリング体験を楽しみました。

町教委の社会体育事業。妹背牛カーリング協会の指導員が氷の上の滑り方やブラシの使い方などを教えました。

参加した子どもたちは滑る氷のリンクに苦戦しながらも、重さ20kgのストーンを投げたり、ブラシで氷をこする動きを体験。初めてカーリングに挑戦した子は、何度も練習するうちに上達していました。